

平成26年度 沖縄振興交付金事業計画（沖縄振興特別推進交付金）（変更後）

（単位：千円）

地方公共団体名	中城村	交付限度額		交付金交付額		
		市町村分総額	うち当該団体配分額	既計上額 ①	追加額 ②	合計額 (①+②)
		31,200,000	1,003,000	848,726	14,514	863,240

（単位：千円）

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業期間		総事業費 A	交付対象事業費 B			交付対象外経費 G	振興計画 該当箇所			備考					
					事業 始期	事業 終期		交付金交付額 C	負担額											
					年	月			沖縄県 D	市町村 E		その他 F								
					年	月														
合 計								1,079,208	1,079,058	863,240	0	215,818	0	150						
1	護佐丸が村を守るグスク整備事業	津波や地震等の自然災害に強い村づくりを推進していくため、防災基盤整備の一環として、防災情報を迅速かつ確実に村民等に伝達する手段の整備、災害時の食料や物資の備蓄、効率的・実働的な災害対策本部の整備、災害関係表示板の設置等を実施する。	レ	5	24	6	31	3	19,892	19,892	15,913	0	3,979	0	0	3	2	(4)	イ	
①	防災情報伝達手段多様化事業	防災基盤整備の一環として、防災情報を迅速かつ確実に地域住民に伝達するために、多様な伝達手段を整備することによって、災害に強く安心して暮らせるむらづくりを推進する。	レ	1	26	4	27	3	17,500	17,500	14,000	0	3,500	0	0	3	2	(4)	イ	新規
②	防災体制整備事業	災害に強く安心して暮らせるむらづくりを推進するため、災害時に地域住民・観光客等が避難生活を送ることとなった際に、物資の搬送が再開されるまでの非常食や生活物資等の備蓄を行う。また、防災基盤整備の一環として、災害が起こった際に効率的・実働的な災害対策に当たることができるよう、災害対策本部の備品の拡充を図る。	レ	5	26	4	31	3	1,904	1,904	1,523	0	381	0	0	3	2	(4)	イ	新規
③	災害関係表示板設置事業	災害に強く安心して暮らせるむらづくりを推進するため、普段から目につきやすい場所に海拔表示板や避難場所標識、避難場所までの誘導表示板等を設置し、地域住民や観光客等の防災意識高揚を図る。	レ	3	26	4	29	3	488	488	390	0	98	0	0	3	2	(4)	イ	新規
2	観光客誘客促進・受入基盤強化整備事業	本村のスポーツ関連施設が集積された吉の浦公園地区における、今後更なるキャンプ誘致に向けて、クラブハウス施設の整備及び各種施設機能強化整備を行うとともに、誘致したプロサッカーチームのキャンプ支援事業を実施する。また、本村の観光資源を生かした観光振興に向けて、世界遺産「中城城跡」と伝統芸能を活かしたプロジェクションマッピング事業を実施し、観光客誘客促進を図る。	イ	9	25	4	34	3	198,036	198,036	158,427	0	39,609	0	0	3	3	(2)	ウ	
①	クラブハウス施設整備事業	スポーツコンベンションの推進を図る目的で当交付金の平成25年度事業として整備を行っている吉の浦公園周辺施設の一つであるサッカー場に、キャンプ誘致の受入基盤を更に強化整備するため、ミーティングルームやレフリースタイルーム、選手控室、シャワールーム、更衣室等の設備を兼ね備えた「クラブハウス」を整備する。	イ	2	25	12	27	3	141,367	141,367	113,093	0	28,274	0	0	3	3	(2)	ウ	

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入すること。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内とする。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入すること。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業期間		総事業費	交付対象事業費					交付対象外経費	振興計画該当箇所			備考						
					事業 始期	事業 終期		A	B	C	負担額			G	章	節		項					
											年	月							年	月	D	E	F
②	キャンプ誘致施設整備事業	プロサッカーチームの一時キャンプやプロバスケットボールチームの練習場として利用されている吉の浦公園各種施設への今後更なるキャンプ誘致に向けて、公園内の各種施設の機能強化整備を行うとともに、県内でも数少ないサッカー専用の芝生を有すサッカー場の適正管理を行い、スポーツコンベンションの推進を図る。	イ	4	25	4	29	3	38,526	38,526	30,820	0	7,706	0	0	3	3	(2)	ウ				
③	中城城跡プロジェクトマッピング事業	風光明媚な世界遺産「中城城跡」を観光振興の目玉として更に推進するため、世界遺産と伝統芸能を活かした中城城跡プロジェクトマッピング事業を実施する。光の演出による日没後の観光メニューを提供することにより集客増を目指す。	イ	9	25	4	34	3	16,438	16,438	13,150	0	3,288	0	0	3	3	(2)	ア	第2回目交付決定変更(事業追加)			
④	プロサッカーキャンプ支援事業	本村や沖縄県のスポーツツーリズムの推進に向け、スポーツコンベンションとしての観光地の魅力アップを図るため、プロサッカーチームのキャンプ受入体制を強化する。	イ	9	25	6	34	3	1,705	1,705	1,364	0	341	0	0	3	3	(2)	ア	第2回目交付決定変更(事業追加)			
3	① 海外移住者子弟研修生受入事業	南米に移住した中城村出身者の子弟を研修生として受け入れ、日本語研修、ウチナーグチ、沖縄の歴史や三線、琉球舞踊、エイサーなどの伝統文化を取得し、企業等での技術研修や村民との交流を通して、社会の発展に寄与する人材を育成するとともに、移住国との友好親善に資することを目的として実施する。	カ	9	25	4	34	3	3,707	3,557	2,845	0	712	0	150	3	4	(1)	ア				
4	教育環境づくり整備事業	地域特性を活かした教育を推進するため、郷土の歴史・文化についての学習の充実を図るとともに、これからの沖縄振興を支える人材育成を行う観点から、情報通信等の学習環境の整備を図る。また、特別支援員及び英語指導補助員の配置や、「学習定着のための機会」を作る等、個々に応じたきめ細やかな教育環境の整備充実を図る。	チ	10	24	10	34	3	59,413	59,413	47,528	0	11,885	0	0	3	5	(4)					
①	中城の歴史と文化を学ぶプロジェクト	「郷土の歴史・文化についての学習」の充実を図る為に教育課程特例校をめざし、「護佐丸」「中城城跡」を通して中城村の歴史と文化を学ぶカリキュラムを編成し、効果的な指導体制の構築のために副読本・教材等の整備を図る。	チ	3	24	10	27	3	2,864	2,864	2,291	0	573	0	0	3	5	(1)	ア				
②	学校ICT環境整備等による学習意欲学力向上推進事業	児童生徒がコンピューターや情報通信ネットワークに慣れ親しみ、適切に活用出来るように情報機器環境を構築する。また、情報教育対応補助者を配置し、きめ細やかな指導を行う。	チ	10	24	11	34	3	20,247	20,247	16,197	0	4,050	0	0	3	5	(4)	ア				
③	きめ細かな児童生徒支援事業	個々に応じた特別な教育的支援が行えるよう個別のサポートを行い、該当児童生徒が落ち着いて学校生活を送れるよう支援員等を配置をする。	チ	10	24	11	34	3	21,518	21,518	17,214	0	4,304	0	0	3	5	(3)	イ				

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入すること。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内とする。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入すること。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業期間		総事業費	交付対象事業費					交付対象外経費	振興計画該当箇所				備考				
					年	月		年	月	A	B	C		負担額			G		章	節	項	目
														D	E	F						
④	国際理解人材育成事業	沖縄振興の発展に重要な国際的感覚や視点を身に付ける人材育成のため、英語指導の補助員を配置し、学校の外国語活動及び国際理解教育を充実させる。	チ	10	24	11	34	3	4,116	4,116	3,292	0	824	0	0	3	5	(4)	ア			
⑤	ごさまる学力パワーアップ事業	沖縄県の学力向上策は、県の主要施策の「にぬふあ星プランⅢ」のもと推進されてきたが、未だ全国学力・学習状況調査においては全国平均と比較してマイナス5.7と全国と大きな差がある。そこで教育委員会は学力向上の下支えとなる中学生の補習を中心に、生徒の学習意欲を引き出し、確かな学力を身につけるため、「学習定着のための機会」の提供として平日講座等を開催する。	チ	9	25	4	34	3	10,668	10,668	8,534	0	2,134	0	0	3	5	(3)	ア			
5	① 文化まつり事業	当該事業は、文化まつり実行委員会に補助金を交付し、11月の土・日を利用して2日間「文化まつり」を実施する。まつりは「保存、継承、発展」をテーマに掲げ、中城村文化協会を中心に一般個人やプロの芸術家、各種団体に参加してもらい中城組踊「護佐丸」・民俗芸能・古典舞踊・古典音楽などの舞台部門、書道・絵画・生花などの展示部門に会場を分けて実施する。	リ	1	26	4	27	3	3,000	3,000	2,400	0	600	0	0	3	1	(4)	ウ	新規		
6	① 吉の浦会館施設機能強化事業	伝統芸能や学習、サークル活動の発表の場として活用する等、人材育成や生涯学習を推進する施設となっている吉の浦会館を、村民が安心して利用できるための施設の機能強化整備を行う。	ハ	3	24	7	27	3	11,906	11,906	9,524	0	2,382	0	0	3	5	(2)	イ			
7	中城村文化財総合調査整備活用事業	本村には「中城城跡」を始めとして多くの有形・無形の文化財が所在している。これら文化財についての悉皆調査を行い位置や現況を把握し、また、古道ハンタ道と沿道文化財の整備及び活用の推進を図るための基本計画を策定する。これら村内文化財の保全を行うことで村民の文化財愛護意識を高めるとともに、村内文化財全体を連携させた包括的な観光資源としての活用を図っていく。	リ	5	25	4	30	3	10,914	10,914	8,731	0	2,183	0	0	3	1	(4)	ア			
①	文化財悉皆調査事業	5ヵ年計画で民俗調査専門員(嘱託員)による村内文化財の悉皆調査を行い文化財の位置や現況等を把握し、それを整理公開していくことで村民の文化財の保護意識高揚と活用を図っていく。	リ	5	25	4	30	3	6,414	6,414	5,131	0	1,283	0	0	3	1	(4)	ア			
②	古道ハンタ道保全活用基本計画作成事業	中城村では村内を横断する古道「ハンタ道」の整備を行っており、平成25年度に整備が完了する予定である。整備後の保存や活用についての基本計画を2ヵ年かけて作成し、今後の観光振興につなげていく計画である。	リ	2	25	6	27	3	4,500	4,500	3,600	0	900	0	0	3	1	(4)	ア			
8	① ごさまるエネルギー活用に向けた調査研究事業	「ごさまエネルギープロジェクト」として産学官連携による共同研究の結果、冷凍粉碎製品を利用した商品開発等の可能性について成果が得られた。そこで、更なる中城村の地域振興・産業振興を図るため、冷凍粉碎及び製氷実験の結果に基づく事業化へ向けた取組の可能性について調査事業を実施する。	ニ	3	24	11	27	3	10,000	10,000	8,000	0	2,000	0	0	3	3	(9)	ア			

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入すること。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内とする。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入すること。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業期間		総事業費							振興計画該当箇所				備考			
					年	月	年	月	A	交付対象事業費			G	章	節	項	目				
										B	交付金交付額								D	負担額	
											C	沖縄県								市町村	その他
9	① (仮称) 護佐丸歴史資料図書館の整備事業	沖縄や中城村の歴史、文化、世界遺産等について村民等が学ぶ場所として、また、村内外に広く知らせる情報発信拠点として、歴史資料図書館の建設を行う。当該施設は、災害時の安全を確保するため防災タワーも兼ねた複合施設として整備する。	リ	4	24	9	28	3	762,340	762,340	609,872	0	152,468	0	0	3	1	(4)	ウ		

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入すること。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内とする。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入すること。